



ことしば 10月号



【チャレンジ目標】『にこにこあいさつ ふわふわ言葉 しっかり運動 いっぱい読書』



放課後教室

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉どおり、朝夕めっきり涼しくなり秋らしい気候となりました。10月は、1年の振り返し地点。今年の前半は、新型コロナウイルスという目に見えない脅威におびえながら、活動を自粛して、感染拡大防止に努めてきました。その後、『新しい生活様式』という考え方が生まれ、コロナ対策をとりながら、また感染状況を見ながら、徐々に活動を再開してきました。後半は、前半の実践を踏まえながら、『新しい生活様式』に基づいてさらに活動を進めていく段階ではないかと思います。子ども達も、1学期から延期になった社会見学や運動会などの行事に向けて、日々の学習に意欲的に取り組んでいます。

コミスクの活動も徐々に再開!! ～ 夢たまごネット, 読み聞かせ etc ～

地域の方もコロナ対策をとりながら、子ども達のために様々な取組を再開させてくださっています。その一つが、「夢たまごネット」です。小中一貫教育とも連携して、上宇部地区・琴芝地区で9年間を通して子ども達を育てるために、3校の学校運営協議会の方、保護者、教職員が集まり、中学生から出たアイデアを生かして、さらに具体的な活動について熟議をしました。「地域でのあいさつ」「マスコットキャラクター制作」「身近な公園等の環境美化活動」など、無理なくできることから始めてみてはどうかということで、各学校、地域でさらに煮詰めている段階です。



夢たまごネット



読み聞かせボランティア

また、本校独自の取組である「読み聞かせ」や「放課後教室」も再開しました。チャレンジ目標の一つに『いっぱい読書』を掲げ、子ども達も日々本に親しんでいます。しかし、市立図書館や学校図書館の活用が制限される中、読みたいけど読めない状態が続いていました。9月には『あおぞら号』(市立図書館)が久々にやって来ました。読み聞かせボランティアの方もコロナ対策をとりながらうれしそうに子ども達に本を読んでもらっています。子ども達もわくわくしながらお話を聞き、うきうきしながら本を借りています。これから秋本番。ぜひ、読書活動にも力を入れていきたいと思います。

さらには、教職員の会議のために下校が早い水曜日(原則第1、第3)の放課後、地域の各団体の方が子ども達に勉強を教えたり文化活動を計画して実施したりしてくださっています。子ども達だけでなく、地域の方も、子ども達との交流を楽しみにしておられる様子です。

様々な取組を通して、地域の方が子ども達を支え、子ども達が地域に貢献し、人と人とのつながりが深まり、認めていただいたり声をかけていただいたりすることで「ふるさとを愛する子どもの育成」につながるのではないかと期待しています。保護者、地域の皆様もお子様からお話を聞いたり、学校だよりやHPをご覧いただいたりして、コミュニティ・スクールの活動についてご理解いただき、本校教育についてさらなるご支援ご協力をいただければ幸いです。



校長のつぶやき



キング・カズの記録に想う



先日サッカーJ1 リーグの試合で、キング・カズこと三浦知良選手が最年長試合出場記録を更新したというニュースをみました。なんと、53歳6ヶ月で、後半11分に交代するまで、56分間も20代の若い選手と一緒にピッチに立ち、積極的にプレーをしたということです。50歳を過ぎて若い選手と一緒に全力疾走する体力を維持するために、かなりストイックな生活をしているようです。その力の源はどこからくるのでしょうか。自分の体型の変化を見ては、『コロナ太り』だ。今、コロナ禍で十分な運動ができないから仕方がない」と言い訳をしている自分に、相田みつをさんの「そのうち そのうち べんかいしながら日がくれる」という詩が重く頭にのしかかります。何事も『継続は己の意思の力なり』です。